PL病院ニュース
NO.298
2022年1月号
毎月1日発行

最新の体外衝撃波砕石装置を導入しました

～より痛みが少なく治療時間の短縮も可能になりました～

当院では2021年12月より最新式体外衝撃波砕石装置のソノリスアイムーブ（エダップテクノメド株式会社/フランス）を導入しました。新しく開発された衝撃波発生技術により、従来機種よりも痛みが少なく、結石の破砕効果が高く、治療時間も更に短縮されました。

TUL（経尿道的砕石術）、ESWL（体外衝撃波砕石術）、PNL（経皮的腎臓砕石術）、ECIRS（TULとPNLの併用手術）の治療を当院では実施することができます。

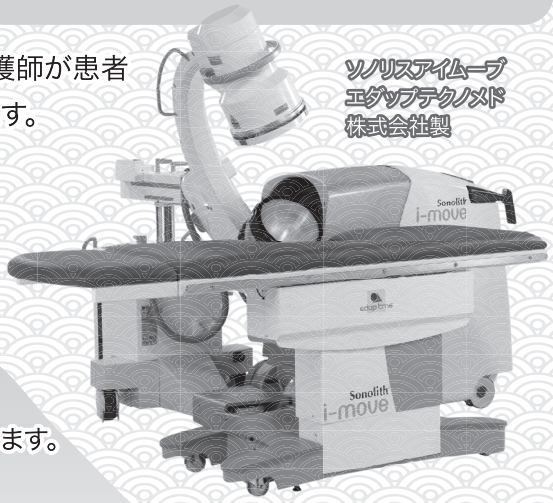
当院の尿路結石治療センターでは、患者さんの結石の大きさや位置、併存疾患の状態、仕事や介護などの事情に合わせて結石破砕の適切な術式をご提案させていただいき決定いたします。

体外衝撃波砕石装置（ESWL）は体外から衝撃波エネルギーをあて結石を破砕し、それにより砂状になった結石を尿中より排出させる治療です。麻酔が不要のため、低侵襲で身体の負担も少なく治療することができます。通常、1泊2日の入院で治療をおこないます。5㎜以上の結石であれば破砕の対象と考えています。4㎜以下でも破砕の対象となる場合があります。経尿道的に内視鏡を挿入できない部位の結石に対しても砕石できるチャンスが拡がります。

症状緩和のための取り組みなど

次のような合併症に対して治療経験豊富な泌尿器科医師、看護師が患者さまの治療中の不快な症状を緩和させるために細やかに対応します。

- ●治療中に響くような痛みを感じることがあります。術前に痛み止めの座薬を投与し、症状を和らげます。
- ●多くの場合、治療後に一時的に血尿が見られることがありますが、自然に止血します。止血剤を投与する場合もあります。
- ●砕けた石が尿管内を動くことによって痛みが生じることがあります。痛み止めで対応します。
- ●結石内に細菌が付着している結石を治療すると発熱することがあります。退院を延期して抗生物質の点滴治療を行います。
- ●腎臓結石の場合、腎臓の周囲に出血が起こることがあります（腎被膜下血腫。貧血が高度に進行した場合には輸血が必要になる可能性があります）。



ソノリスアイムーブ
エダップテクノメド
株式会社製

お問い合わせは泌尿器科外来までお願いいたします。
（TEL：0721-24-3100）